

日本道路公団民営化検討着手

11月末までに中間まとめ

国土交通省

国土交通省は26日、高
速自動車国道の整備の在
り方検討委員会(座長・
諸井虔)太平洋セメント相
談役)の初会合を開き、
日本道路公団の民営化に
向けて検討に着手した。

11月末には、民営化
に望ましい姿などを盛り
込んだ中間とりまとめを
行う。中間とりまとめ以
降に、民営化形態で実施
可能な路線の選定なども
行うと考えた。

冒頭、扇千景国土交通
大臣は、道路公団の民
営化策について、さまざま
な提案の中から小泉総理
が最終決定する方針に触れ、「最強のメンバー」と
いうべき意見を述べた。

委員からは、将来状況の
予測や、償還見通しの前
提条件を、より厳しく見
込むことなどが指摘され
た。

中間とりまとめでは、
まず国民に民営化のメ
リットを説明して、民営
化のための望ましい姿を
具体的に示すとした。そ

の後、民営化し、収益を
確保するために整備・

管理可能な路線の選定
や、子会社・関連会社

企業では負負えない」と
いふ意見を基に、素晴らしい提案を行つて政府案に決まつてほ
しい」と意気込みを述べた。

初会合では、国土交通
省側が高速道路整備の状
況や、整備の仕組み、今
後の償還計画、諸外国の
整備の仕組みなどを説明。
具体的に示すとした。そ

が不可欠とした。また、

が不可欠とした。また、